

令和6年度 こども医療センターにおける看護師の負担軽減計画

目 標		こども医療センターの看護職が自らのキャリアを実現し、組織貢献できるよう働き続けられる労働環境の整備を目指す		
項目	現状・問題点・取り組みの根拠	対応方針	具体的な計画	達成状況
				年度末評価
看護補助者の配置および教育体制の整備、業務看護師との相互理解を促進し効果的なタスクシフトを実現する。	複合疾患を有するなど、対象が多様化している中、看護師でなければ行えない業務が増加している。看護師が行っている周辺業務を整理し、負担を軽減する必要がある。看護補助者がチーム医療の一員としての意識を高め、看護師と適切なタスクシフトを行われれば、患者への安心で安全な医療につながる。	○協働により成り立つチーム医療の推進が目的であることを看護職員・看護補助者が理解する。 ○看護補助者とのタスクシフトを推進し、多様化する患者の安全・安心と、看護師の業務負担軽減を目指す。	○医療の質の向上のためであるタスクシフトの目的を看護師が理解するため「看護補助者の活用に関する研修」参加を推進する(看護補助体制充実加算の取得)。 ○看護補助者の確保・定着を推進し、安定したシフトを実現する。 <u>○看護補助者がチーム医療における看護補助者業務が理解できるよう研修内容の充実およびラダーに基づいた人材育成を推進する。</u> ○看護師周辺業務の移譲に向け、看護補助者間の補完体制を推進する。	
病棟保育士の配置整備と教育体制の整備により効果的なタスクシェアリングを実現する。	身体的・精神的・社会的機能を獲得する前に疾患や障害を持つことになる小児にとって成長発達支援は重要である。しかし複合疾患を有するなど、対象が多様化している中、看護師でなければ行えない業務が増加しており成長発達支援が十分とはいえない。成長発達支援について専門的な知識を有する保育士とのタスクシェアリングにより患者の成長発達支援の充実を図る。	病棟の実情に応じた人員配置、シフトを導入し、タスクシェアリングにより患者サービスの向上および看護師の負担軽減を図る。	○病棟保育士の確保・定着を推進し、安定したシフトを実現する。 <u>令和6年度の診療報酬改定(複数配置加算)に伴いセクションの適正配置の検討を行っていく。</u> ○病棟保育士がチームの一員であることが意識できるよう研修の内容の充実化を図る(チーム医療、個人情報保護、専門性等)。 ○病棟保育士間の補完体制を推進する。 ○患者カンファレンスへの保育士参加を推進する。	
一人一人が、ヘルシーワークプレイス(健康で安全な職場)を意識し、業務改善に取り組む。	<u>医療の進歩に伴い、看護に求められる役割も増大している。</u> 効率的な業務改善を進め、一人一人が健康を守りながら働き続けられる環境整備が求められる。	働き続けられる労働環境について職員の意識改革に働きかける。 <u>ICTを活用した業務改善を推進する。</u>	○ライン組織を活用し、業務整理・改善に取り組む。 <u>○ICTを活用した業務改善・業務整理を検討する。</u> ・記録にかかる時間の整理 ・効率的な研修 ・会議の効率化 <u>・ICTを看護業務に活用している病院の見学を検討する。</u> ○セクション間リリーフのタイムリーな調整。 ○欠員補充のタイムリーな実施。	